

これから時代は人口減少と共に、高齢者割合の増加も大きな問題。65歳以上の人口割合は過去最高、15歳未満の人口割合は過去最低

■年齢別人口割合の都道府県別増減率(2010年と2015年の差)

2015年に実施された国勢調査について総務省は去る6月、「抽出速報集計結果」を発表した。これは「全数集計」に先立ち、主要な統計を抽出して早期提供するもの。今回発表されたデータによれば、65歳以上の人口割合は前回調査の2010年比で14%増の3,342万人に達し、高齢者割合の26.7%と共に過去最高を更新している。また、15歳未満の子どもの人口割合は12.7%で、過去最低だった。65歳以上の人

ケイアイ通信

2016年
11月号

高齢者割合の増加によって空き家の増加スピードが加速する!?

黒木代表のひとことコラム

上の人口割合は増加ペースで、15歳未満の人口割合の減少ペースも全国平均を上回った。高齢化の進行は、決して地方における問題にとどまらず、大都市圏でもじわじわと進んでいる状況である。

また沖縄県は、前回調査時点(2010年)では15歳未満の人口が65歳以上の人口を上回っていたが、今回開始されてから初めて全国道府県で65歳以上の人口が15歳未満の人口を上回った。これは高齢者が65歳以上の人口を上回っている。ちなみに、1990年まで日本よりも高齢化が進んでいたアメリカは、2015年時点では

高齢化率はイタリアの22.4%、ドイツの21.2%などを大きく上回って、世界で最も高い水準となっている。ちなみに、1990年まで日本よりも高齢化が進んでいたアメリカは、2015年時点では

ある不動産会社のインターネット調査によると、都道府県平均で一人暮らしを始めた年齢が平均32.0歳まで、その後で一人暮らしを始めた年齢が平均37.6歳でした。注目したいのは、マイホームを取得したい年齢の一例が岡山県で、少しがくら3番目の41.7歳でした。ただ実家暮らしはどの都道府県で開きはなく、島県が年齢の高い方立ったエリア特性も立ったエリヤ特性もなさそうだと調査会社はみています。今回の調査結果から分かったことは、多くの人たちにとって「住まいの変遷は『30歳』が大きなターニングポイントとなっていました。

私が入社したのは24歳の時です。入社から3年間は賃貸事業部にいましたが、その後の6年間はずっと管理業務の枠を超えていました。そこで大切な物件をお預かりする事もありました。しかし、普段から管理部で物件の管理経験を積んできました。賃貸住宅の管理業務ですから、入居者様からお問い合わせなどと「大家さん」の代行です。そこには悲喜こもごも様々な人生があり、その全てを垣間見きました。その渦中に巻き込まれながら学んできた事は、今の私の宝物になっています。我々の仕事を垣間に見てきました。

アイルトン・セナの言葉に深く感銘、一度しかない人生を精一杯生きる。

(株)ケイアイコミュニケーション
岡山支店 係長 釜山智樹

お預かりして家主様に変わつて賃貸物件をさせていたのですから責任は重大です。また、瞬時に厳しい判断を想定して考える習慣も身につきました。最近の業務としては、賃貸住宅の管理業務ですから、入居者様からお問い合わせなどと「大家さん」の代行です。そこには悲喜こもごもごと人生があり、その全てを垣間見ました。その渦中に巻き込まれながら学んできた事は、今の私の宝物になっています。我々の仕事を垣間に見てきました。

私は、勝ち負けにはこだわらず、むしろ負け思つていています。音速の貴公子と呼ばれたF1ドライバーのアイルトン・セナが言つた大好きな言葉があります。「この世に生を受けた事、それが最大のチャンスではないか」といふ言葉です。私はこの言葉の意味を「人間は生まれてきただけでは、一度しかない人生を精一杯生きようと思つています。だから、一度しかない人生を精一杯生きようと思つていています。

私は、勝ち負けにはこだわらず、むしろ負け思つていています。音速の貴公子と呼ばれたF1ドライバーのアイルトン・セナが言つた大好きな言葉があります。「この世に生を受けた事、それが最大のチャンスではないか」といふ言葉です。私はこの言葉の意味を「人間は生まれてきただけでは、一度しかない人生を精一杯生きようと思つていています。だから、一度しかない人生を精一杯生きようと思つていています。

このコーナーでは「土地活用と賃貸経営についてシリーズで解説していきます。第8回目は、所有している土地の環境を「住宅地」「繁華街」「幹線道路沿い」の3点に絞り、それぞれの立地条件をどう生かして、どのように有効活用したい。但し、浴室乾燥機、T.V.インター、ホン等の単身者嗜好設備を充実させると、建設費の坪単価が高くなるので、要検討。

■住宅地／都心部と郊外では若干違いますが、まずはファミリー向けが基本。1戸約55~70m²で2LDKか3LDKが妥当です。周辺にも同様の物件が数多くあるので、専有面積や外観で、あるいは空き部屋発生の危険性に直面する恐れあり。保有コストとなる固定資産税も考慮し、経営効率上、部屋数や占有面積の決め方に要注意。

■繁華街／交通の便、生活環境が充実していれば、ファミリーと単身者の両方が考えられます。ただし、单身者に絞った場合、1戸当たり25~50m²の1Kもしくは1LDKが妥当。経営効率的には、

利さの片面、騒音等がマイナス要因となり、分譲物件、賃貸物件共に苦慮する傾向あり。ここに賃貸物件を建てるなら、单身者か学生向きに絞り、ワイドな1戸30m²程度の1Kが妥当。騒音対策として、窓を二重サッシにしてみましたが、地形、周辺環境、交通便も含めての検討が必要です。(次号に続く)

ケイアイグループ店舗・事業部スタッフ紹介

ケイアイホーム(アパマンショップ)各店とケイアイグループのスタッフをご紹介いたします。

シリーズ「土地活用と賃貸経営」 Vol.8

Vol.8

